

# 令和3年度（令和2年度分）

# 桐生市事務事業総合評価票

## I 事業の位置付けと概要

1 事務事業名		浄化槽設置等補助事業		整理番号	99									
2 予算科目		4 款	2 項	3 目	6 根拠法令等（主なもの）	7 第六次総合計画での位置付け（基本計画）								
3 事業期間		平成30 年度から	令和4 年度まで		桐生市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱	8 総合戦略への掲載								
4 事務分類		法定受託事務		○ 自治事務		9 市長公約での位置付け		無	No					
5 国県補助		国1/2	県1/4	エコ(県)10/10										
10 事業概要	目的				誰・何を（対象）					どのような状態にしたいか（意図）				
	浄化槽処理促進区域内で新設及び既存単独浄化槽または汲み取り槽から転換をするかたが対象				生活環境の保全、公衆衛生の向上及び公共水域の水質汚濁の防止。									
	方法				直接実施	委託・指定管理	○ 補助金	貸付	その他（ ）					
事務事業の詳しい内容（R2年度実施した内容を必ず記載）														
浄化槽設置等補助事業は、浄化槽処理促進区域内の住民に対し、生活排水による公共水域の水質保全を図るため、国・県などと連携を図り、浄化槽設置のための補助を行う。														
（令和2年度設置基数） 5人槽新設 7基 7人槽新設 3基 新設設置 10基 5人槽転換 2基 7人槽転換 3基 転換設置 5基 合計15基														
主な業務内容 ・対象地区のかたに補助金制度の周知。 ・申請受付から支払いまでの事務。 ・浄化槽設置にあたり検査(中間、完了)を2回。 ・国、県への補助金交付の申請及び調書。														
11 主な業務内容（どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載）														
業務名		業務内容概要												
浄化槽補助手続き業務		申請から支払いまでの事務及び検査。												
補助金申請手続き業務		国及び県への補助金を交付受けるための申請及び調書の事務。												
補助対象地域確認業務		補助対象地域の確認や照会等の事務												
計画の策定業務		5ヵ年計画を策定するにあたり、前5ヵ年計画や今後の下水道整備状況等を考慮し金額や基数の算定。												
広報・周知業務		ホームページや広報による補助事業の周知。												

## II 事業実績(DO)

1 事務事業コスト		単位	令和元年度（実績）		令和2年度（実績）		令和3年度（見込み）			
コスト	事業費(人件費除く。)		千円	3,271		2,560		5,331		
	人件費		千円	3,600		3,600		3,600		
	内訳	職員	人	千円	0.5人	3,600	0.5人	3,600	0.5人	3,600
		会計年度任用職員等	人	千円	0人	0	0人	0	0人	0
	総コスト		千円	6,871		6,160		8,931		
市民1人当たり（R3.3.31時点）		円	64		57		83			
財源内訳	国・県支出金		千円	3,411		2,063		1,696		
	起債		千円							
	受益者負担額（負担金、使用料、手数料、実費）		千円							
	その他特財		千円	1		1		2		
一般財源		千円	3,459		4,096		7,233			
2 活動指標	浄化槽設置整備基数	目標値	基数	36		27		27		
		実績値	基数	19		15		27		
	達成度	%	52.8		55.6		100.0			
	目標値	基数								
3 成果指標 (数値化が困難な場合はその理由も記載)	浄化槽の整備による生活排水の水質向上が図られ、生活環境の改善と公共水域の水質保全に役立っていると考えられる。	目標値	基数							
		実績値	基数							
	達成度	%								
	目標値	基数								
実績値	基数									
達成度	%									

### III 事業の評価(CHECK)

事務事業名

浄化槽設置等補助事業

どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。

【有効性】	<b>A</b>	浄化槽の整備による、生活排水の水質向上に伴い、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に役立っています。 【補助基数】平成30年度 14基 令和元年 19基 令和2年度 15基
・得られた成果と効果を記載 (成果指標の達成度に対する評価 及び過去との比較検討も含めて)		
【効率性】	<b>A</b>	広報やホームページなどで事業を周知をおこない、浄化槽処理促進区域内の住民に対し、浄化槽の設置を促進をおこなっている。 なお、申請から完了までが短時間で浄化槽の整備ができるため、スピード感を持って、公共用水域への未処理の雑排水を流出させない取組を行っています。
・費用対効果の面から記載		
【必要性】	<b>A</b>	主に公共下水道整備区域外の生活環境の改善を図るため、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質汚濁防止のために必要な事業であります。 なお、令和2年度に下水道事業計画区域（桐生処理区）の縮小に伴い、浄化槽処理促進区域が拡張され補助件数の増加が見込まれます。 縮小面積 63.1ha （川内地内 34.2ha 新里地内 28.9ha）
・事業を継続することの意義、 見込み数の変動等を記載 (事業の将来への見直し及び 事業推進に当たっての課題等)		
【公平性・ 透明性】	<b>B</b>	ホームページ及び広報きりゅうによる浄化槽設置整備に関する掲載を行い、事業の情報を発信しています。 ホームページ 浄化槽設置整備事業補助金で掲載 広報きりゅう 4月号・10月号で掲載
・公平性が確保されているか、 受益者負担は適切か、積極的に 情報公開がされているかなどに ついて記載		
【優位性・ 独自性】	<b>B</b>	桐生市は12市で単独浄化槽から合併浄化槽への転換補助額が一番少なく、宅内配管の補助を上乗せしている市もあるため、浄化槽設置に係る補助額では他市と比べると少ないといえます。 また、他市では新設補助を廃止したところもある中で、桐生市は新設の補助を継続して行っています。 【桐生市 (5人槽) 新設補助 69,000円 転換補助 252,000円】 新設補助 (5人槽) 伊勢崎市 150,000円 太田市 123,000円 みどり市 なし 転換補助 (5人槽) 伊勢崎市 350,000円 太田市 346,000円 みどり市 390,000円
・他の自治体(同様事業含む)との比較 及び優位性・独自性があれば記載 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 太田市、みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。		
【その他(特記事項)】		令和元年度に1,074千円の年度間調整額が発生。(合計2,186千円の年度間調整額) 令和2年度は年度間調整額を使用するため国費は要望無し。 新設補助については国費の補助が廃止され次第、桐生市としても廃止を計画して、転換にシフトする予定
※書面審査を行う上で、説明して おくべき事項を記載 例：補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など		

A：適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。)

B：概ね適切であるが、改善の余地はある。

C：見直しが必要である。

### IV 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK)

令和2年度	最終評価結果	最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見)
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	<b>R2評価 未実施</b>

### V 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

一次評価 (担当課評価)	今後の方向性	改善点・見直し(案)等
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	<b>執行方法等 の工夫・見 直し</b> 令和2年度に下水道事業計画区域(桐生処理区)の縮小に伴い、浄化槽処理促進区域が拡張され補助件数の増加が見込まれますので、今後は、国・県の動向や情報を注視しながら、事業に反映していきたい。
二次評価 (内部評価)	今後の方向性	意見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	<b>執行方法等 の工夫・見 直し</b> 下水道処理区域の縮小に伴い、本事業の有用性も増すことから、国県の財源の動向を注視しながら補助単価の見直しを含めて適切な検討をされたい。
最終評価	今後の方向性	意見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	<b>執行方法等 の工夫・見 直し</b> 二次評価のとおり

# 令和3年度（令和2年度分） 桐生市事務事業総合評価票

## I 事業の位置付けと概要

1 事務事業名		管理事業(し尿)		整理番号	100	
2 予算科目		4 款	2 項	5 目	6 根拠法令等(主なもの)	7 第六次総合計画での位置付け(基本計画)
3 事業期間		昭和29 年度から	年度まで		6 根拠法令等(主なもの)	8 総合戦略への掲載
4 事務分類		法定受託事務	<input type="radio"/>	自治事務		9 市長公約での位置付け 無 No
5 国県補助						
10 事業概要	目的	誰・何を(対象)			どのような状態にしたいか(意図)	
		し尿及び浄化槽汚泥の			適切な管理を行う	
	方法	<input type="radio"/>	直接実施	<input type="radio"/>	委託・指定管理	補助金 貸付 その他( )
11 主な業務内容 (どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載)						
業務名		業務内容概要				
維持管理・保守業務委託		12件の維持管理・保守業務委託				
し尿処理運転管理業務委託		運転管理業務委託				
車両管理		使用車両5台の車検・修繕等の管理				
各種報告書の作成、提出		し尿処理施設維持管理状況報告書、一般廃棄物最終処分場維持管理状況報告書等、ダイオキシン類等測定結果報告書				
需用費の管理		消耗品、薬品等の発注依頼				

## II 事業実績(DO)

1 事務事業コスト	単位	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(見込み)		
コスト	事業費(人件費除く。)	千円	205,273	190,511	207,122	
	人件費	千円	14,040	14,040	13,140	
	内訳	職員	人/千円	1.8人 12,960	1.8人 12,960	1.7人 12,240
		会計年度任用職員等	人/千円	0.6人 1,080	0.6人 1,080	0.5人 900
	総コスト	千円	219,313	204,551	220,262	
	市民1人当たり(R3,3.31時点)	円	2,038	1,901	2,047	
財源内訳	国・県支出金	千円				
	起債	千円				
	受益者負担額(負担金、使用料、手数料、実費)	千円	139,283	132,226	141,690	
	その他特財 一般財源	千円	80,030	72,325	78,572	
2 活動指標	施設の稼働日数	目標値				
		実績値	日	241	243	241
		達成度	%			
		実績値				
3 成果指標 (数値化が困難な場合はその理由も記載)	し尿処理量	目標値				
		実績値	K L	35,994	36,092	35,863
		達成度	%			
		実績値				
	達成度	%				

### III 事業の評価(CHECK)

事務事業名

管理事業(し尿)

どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。

【有効性】	<b>A</b>	し尿処理施設から排出される排水や排ガス等については法令上の基準が定められており、すべて基準値以内で管理している。 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る上で、本事業の有効性は高いと言える。
・得られた成果と効果を記載 (成果指標の達成度に対する評価 及び過去との比較検討も含めて)		
【効率性】	<b>A</b>	作業方法や点検整備の改善を行い、機器の延命化を図ることによりコストの削減に努めている。 また、長期継続契約をすることで単年度契約と比べ、契約金額の抑制と契約事務の簡素化、同一業者の複数年における統一した維持管理が運営されることから業務の効率化が図られ、高い費用対効果を実現している。
・費用対効果の面から記載		
【必要性】	<b>A</b>	し尿は廃棄物の処理及び清掃に関する法律により市町村において生活環境の保全上支障が生じないように処分を行わなければならない。市民が健康で快適な生活を行うためには必要不可欠な事業である。
・事業を継続することの意義、 見込み数の変動等を記載 (事業の将来への見直し及び 事業推進に当たっての課題等)		
【公平性・ 透明性】	<b>A</b>	本施設はみどり市からのし尿の搬入も受け入れており、費用に関しては搬入量に応じて費用負担されている。 また、し尿焼却灰や脱水汚泥の放射性物質の測定結果や、最終処分場の空間放射線量等の情報はホームページで公開しており、透明性の向上に努めている。
・公平性が確保されているか、 受益者負担は適切か、積極的に 情報公開がされているかなどに ついて記載		
【優位性・ 独自性】		前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市については同様の処理施設はあるものの、施設規模や処理方法等の条件がそれぞれ異なるため、比較を行っていない。
・他の自治体(同様事業含む)との比較 及び優位性・独自性があれば記載 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 太田市、みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。		
【その他(特記事項)】		
※書面審査を行う上で、説明して おくべき事項を記載 例：補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など		

A：適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。)

B：概ね適切であるが、改善の余地はある。

C：見直しが必要である。

### IV 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK)

令和2年度	最終評価結果		最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見)
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	<b>執行方法等 の工夫・見 直し</b>	公共下水道の普及や人口減等により減少傾向にあるし尿搬入量に対し、施設の 運転時間や運転回数の調整を行うことにより、燃料費や電気料等の経費を節減 し、より効率的な施設稼働となるよう検討を行う。

### V 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

一次評価 (担当課評価)	今後の方向性		改善点・見直し(案)等
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	<b>現状のまま 維持</b>	運転管理委託について、現在は複数年契約を締結しているが、今後はさらに効 率的な管理運営ができるよう維持管理や契約の手法について検討を行う。
二次評価 (内部評価)	今後の方向性		意 見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	<b>執行方法等 の工夫・見 直し</b>	契約方法の見直しや、光熱水費等の削減に努め、より効率的な管理運営となる よう努められたい。
最終評価	今後の方向性		意 見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	<b>執行方法等 の工夫・見 直し</b>	二次評価のとおり